

令和6(2024)年度 栃木県立宇都宮南高等学校 学校評価に関するアンケート結果報告

Ⅰ はじめに

本校の教育活動改善に資する資料とするため、全校生徒932名と保護者を対象に10月21日(月)から11月5日(火)にかけて「学校評価に関するアンケート」を実施しました。本年度も多くのご回答を頂き、ありがとうございました。自由記述のご意見も多数お寄せ頂き保護者の皆様の本校の教育活動への関心と期待の高さをあらためて認識いたしました。ご要望も数多く寄せられましたが、さらなる改善に向け可能な限り取り組んでまいりますので、今後とも本校の教育活動に対するご理解ご協力を賜りたく存じます。

アンケートの回答状況については次のとおりです。

回答数 生徒 883名(1年: 292名 2年: 293名 3年: 298名)
保護者 730名(1年: 248名 2年: 225名 3年: 257名)

提出率 生徒 95% 保護者 78.3%

アンケート結果の分析は、次の点に留意しました。

- ① 回答項目のすべての回答状況をグラフ化し、特徴的なことを付記しました。
- ② 「生徒」「保護者」に共通する質問項目については、質問項目を領域ごとにA「学校のイメージ」、B「学習」、C「進路」、D「生活指導」、E「学校行事・部活動」、F「環境・施設」に分類し、両者のデータを並べて掲載しました。
- ③ 「生徒」「保護者」いずれかのみを対象とした質問項目については、個別に掲載しました。

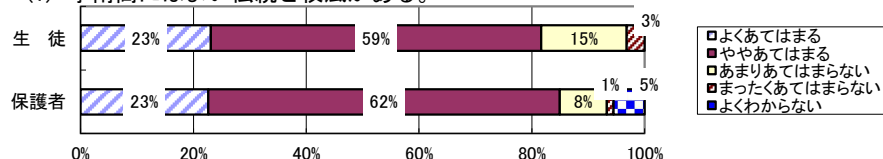
Ⅱ アンケート結果概要

注:「よくわからない」という回答選択肢は、保護者対象のアンケートにのみ設けました。また、「よくあてはまる」と「ややあてはまる」を合わせて肯定的な評価とし、「あまりあてはまらない」と「まったくあてはまらない」を合わせて否定的な評価とし、各質問項目の回答状況を分析しています。

(1) 生徒・保護者共通質問項目

A 学校のイメージについて

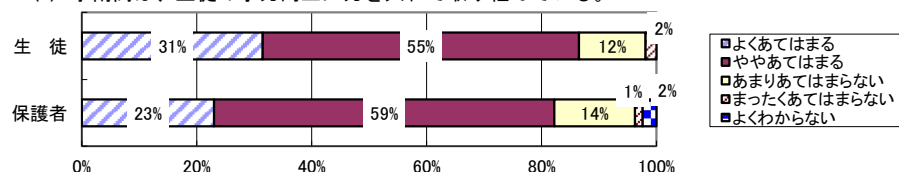
(1) 宇南高にはよい伝統と校風がある。



肯定的評価全体については、生徒と保護者ともに昨年度に引き続き80%を超えた。しかし、「よくあてはまる」の回答については減少しており、5%程度の保護者が「よくわからない」という回答している。学校行事これまでに築いてきた、本校のよき伝統と校風を振り返る機会を増やすとともに、本校の教育活動の広報を充実させる必要がある。

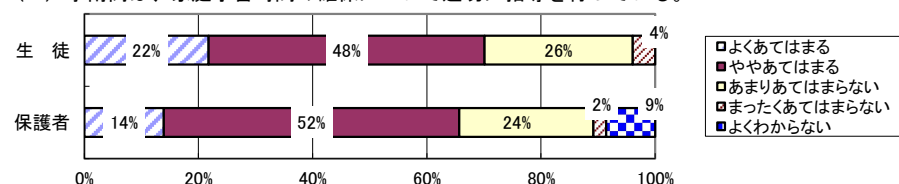
B 学習について

(4) 宇南高は、生徒の学力向上に力を入れて取り組んでいる。



生徒の肯定的評価は86%、保護者は82%であり、80%台の高い水準をここ数年維持している。これまでの学力向上への取組が浸透してきた成果であると思われる。ただし、昨年度と比較するとわずかながら肯定的評価は減少しており、授業のさらなる充実を図るとともに、スタサプ、課外や土曜開放(特別講座)を含め学力向上に向けた取組を定着させる必要がある。

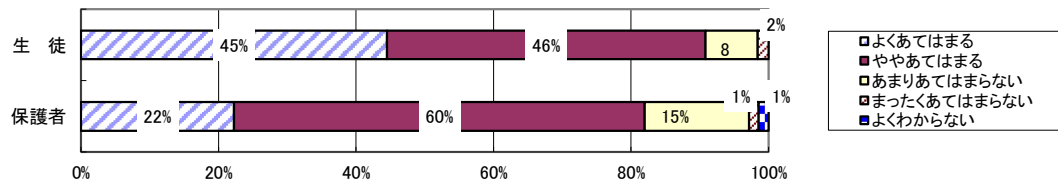
(13) 宇南高は、家庭学習時間の確保について適切に指導を行っている。



肯定的評価が昨年度と比較すると減少している(生徒:76%⇒70%、保護者:70%⇒66%)。7割の生徒が家庭学習時間の確保について適切な指導を受けていると回答しているが、保護者の否定的評価が26%(4人に1人)に達しているとともに、「よくわからない」と回答している保護者が9%もいることから、家庭学習習慣の定着に向けた学校における取組を保護者にしっかり伝えつつ、保護者と連携を図り効果的な指導に努める必要がある。

C 進路について

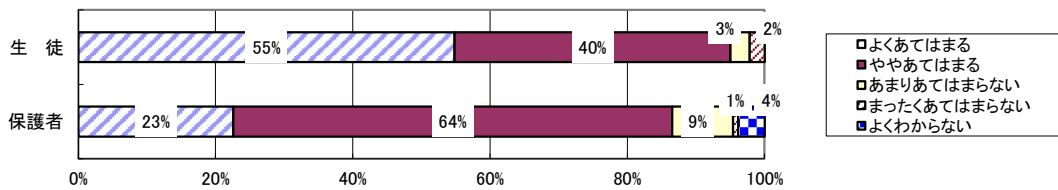
(5) 宇南高は、生徒の進路について適切な指導や情報提供を行っている。



生徒と保護者とも昨年度とほぼ同様の結果であり、肯定的評価について、生徒は90%台、保護者は80%台の高い水準を維持している。今後も進路に関する適切な指導や情報提供を通して、納得のいく進路実現に努める必要がある。

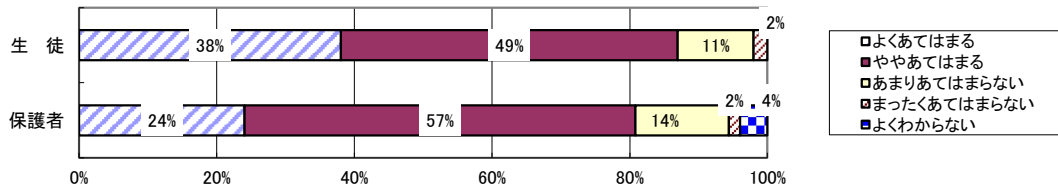
D 生活指導について

(6) 宇南高の生徒は、校則や社会のルールを理解し行動している。



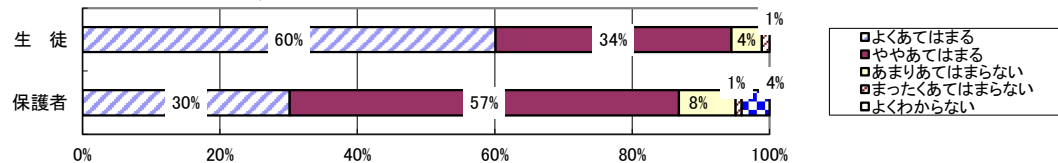
生徒については、肯定的評価、否定的評価ともにほぼ昨年度と同様の結果であった。保護者については、肯定的評価は87%と高水準は保っているが、昨年度との比較では3%ほど減少している。また、「よくわからない」と回答している保護者が、昨年度の2%から4%増加している。保護者との連携について改善を図りながら、今後も継続的に指導していく必要がある。

(7) 宇南高の先生は、生徒や保護者の悩みや相談に親身になって応じてくれる。



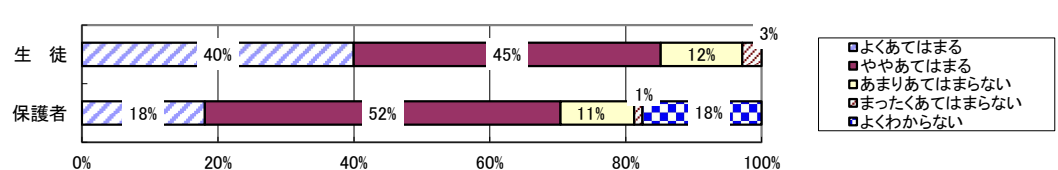
肯定的評価について、生徒と保護者ともに昨年度より2~3%減少している。また、この設問に対して13%の生徒と16%の保護者が否定的に回答している。さらに保護者の4%が「よくわからない」と回答している。個人懇談や日常的な生徒観察を通して、潜在している生徒の不安や悩みも感知し、より適切な指導援助が行えるよう取り組みを進めていく上で、保護者と緊密に連携を図っていく必要がある。

(8) 宇南高では、遅刻や服装・交通安全に関する指導が適切に行われている。



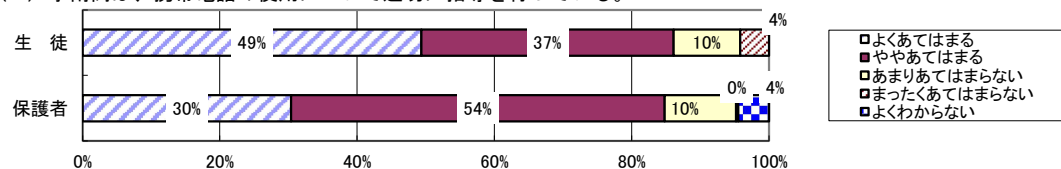
生徒と保護者について、肯定的評価、否定的評価ともに昨年度とほぼ同じ結果であった。肯定的評価が生徒は94%、保護者は87%と高水準ではあるものの、自転車のマナーに関する苦情や交通事故が絶えないのが現状である。交通のマナー、交通ルールの遵守に関して、引き続き粘り強く指導をしていく必要がある。

(15) 宇南高では、いじめ防止対策が適切に機能している。



生徒については、肯定的評価、否定的評価ともに昨年度とほぼ同じ結果であったが、保護者については、肯定的評価が76%から70%に減少し、「よくわからない」という回答がその分増加した。いじめアンケートを毎月実施するなど防止対策のシステムを今後も継続するに加え、生徒への声かけや言動への目配りなど恒常的な指導を強化し、いじめ対策推進法や県のガイドラインに基づく対策を推進する必要がある。

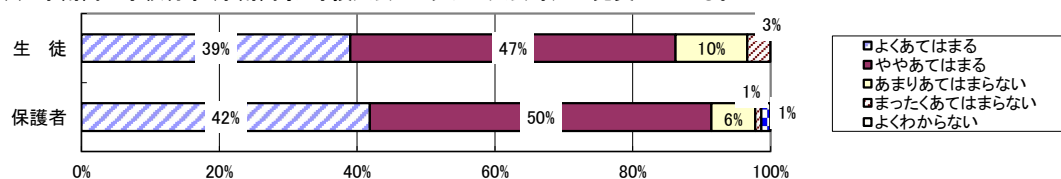
(14) 宇南高は、携帯電話の使用について適切に指導を行っている。



生徒については、肯定的評価が昨年度より4%増加した。保護者については、肯定的評価全体としては昨年度と同じ結果であった。肯定的評価が高水準である一方で、スマートフォンに関わる問題行動がなくなるのが現状である。スマートフォンの機能の向上とともに社会におけるその役割も大きく変化する中、マナー遵守とSNS全般の健全使用について保護者と共通理解を図りながら引き続き指導の徹底を図る必要がある。

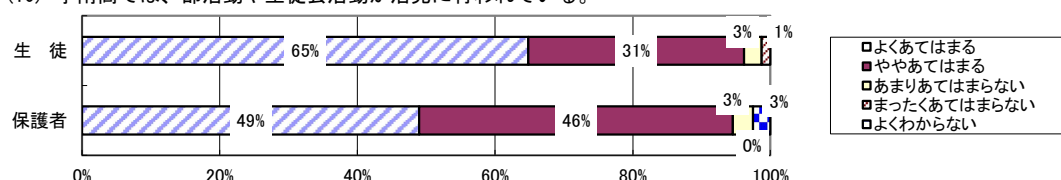
E 学校行事・部活動について

(9) 宇南高の学校行事(宇南高祭・球技大会・マラソン大会等)は充実している。



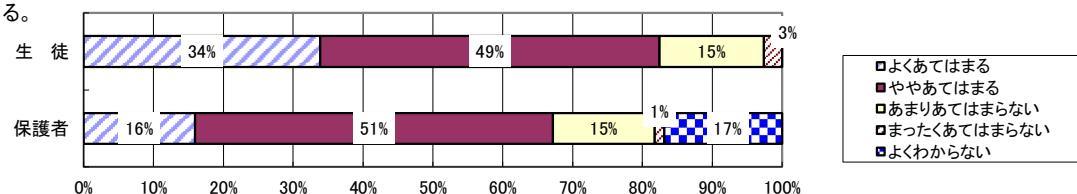
生徒については、肯定的評価が昨年度と比較して80%から86%に増加した。保護者については、肯定的評価が2%減少したものの92%と高水準である。学校のより一層の活性化を図るためにも、生徒がより主体的に行事への取り組みよう、生徒の改善に検討も参考にして、学校行事の充実化に取り組む必要がある。

(10) 宇南高では、部活動や生徒会活動が活発に行われている。



部活動については、生徒と保護者ともに肯定的評価において95%以上の高水準を維持している。ただし、「よくあてはまる」の回答については5~9%減少している。本校の部活動は、運動部、文化部ともに積極的に活動しており、それが本校の強みであり、また魅力にもなっている。生徒会活動も含め、今後とも活性化のための取組を進めていく必要がある。

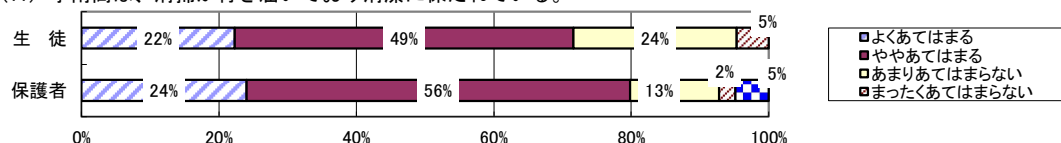
(16) 宇南高では、地域と連携した活動や、国際性を高める活動(インターアクト活動等)を積極的に行っている。



生徒と保護者について、肯定的評価、否定的評価ともに回答状況が大きく改善した昨年度とほぼ同じ結果であった。否定的評価や保護者の「よくわからない」と回答については、実際行っている活動が伝わっていない可能性が考えられる。学校HP等を活用して情報発信を工夫し充実を図る必要がある。

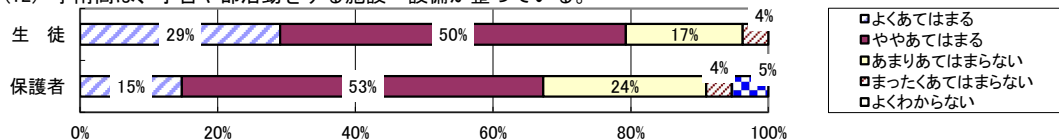
F 環境・施設について

(11) 宇南高は、清掃が行き届いており清潔に保たれている。



生徒と保護者について、肯定的評価、否定的評価ともに昨年度とほぼ同じ結果であった。否定的評価が他の項目に比べて高く、生徒は29%、保護者は「よくわからない」を含めて20%であり、校内美化、清掃活動への取り組みについては改善を進める必要がある。校内美化、清掃活動の意義や重要性を踏まえ、優先順位の高い課題として問題解決を図りたい。

(12) 宇南高は、学習や部活動をする施設・設備が整っている。

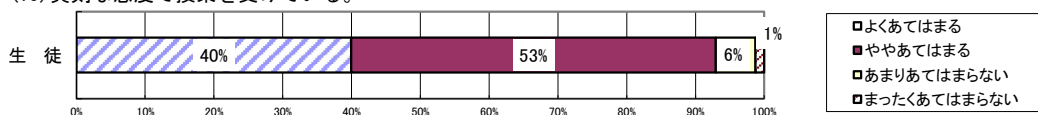


否定的評価がやや目立つ結果であり、昨年度と比較すると、否定的評価の方がわずかではあるものの増加している。様々な改修工事が進み、昨年までは毎年改善傾向にあった項目ではあったが、本年度は停滞してしまった。教育活動の充実にはハード面の整備の充実が欠かせない。今後とも県との調整を図りながら、計画的に改善、充実に向け取り組む必要がある。

(2) 生徒だけへの質問項目

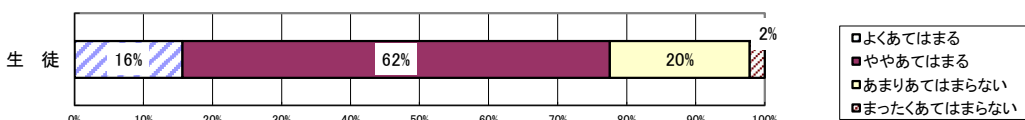
G 自分自身について

(15) 真剣な態度で授業を受けている。



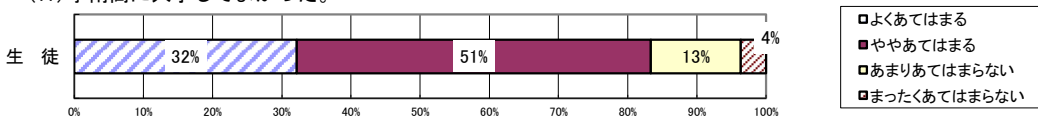
肯定的評価は、昨年度とほぼ同じで93%であり、生徒の授業に取り組む意識が高いことが表れている。授業は学校の教育活動の中心であり、真剣に取り組むことが何より重要である。授業をさらに充実させるために、予習・復習等の家庭学習にも意欲的に取り組む生徒の育成に努める必要がある。

(16) 宇南高の授業の教え方や説明はわかりやすい。



昨年度より肯定的評価が7%減少している。すべての生徒が新課程となり、生徒の特性も大きく変化している。情報端末やデジタル黒板等の利活用を含め、新しい教育課程に対応すべく、わかりやすい授業を心がけ、生徒の興味関心を喚起し、主体性を引き出すことができるよう引き続き授業改善に取り組んでいく必要がある。

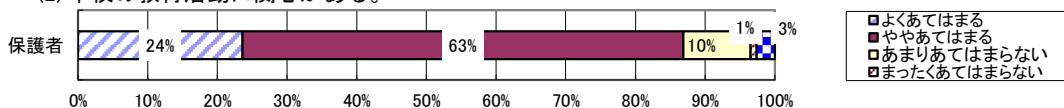
(17) 宇南高に入学してよかった。



学校満足度について、肯定的評価は80%台を維持しつつも昨年度の86%から83%に減少した。学校評価を通じて、学校の教育活動、指導体制のさらなる改善に向け、各部・各学年が連携を図り、よりよい学校づくりに取り組み、学校の魅力の向上に努めていく必要がある。

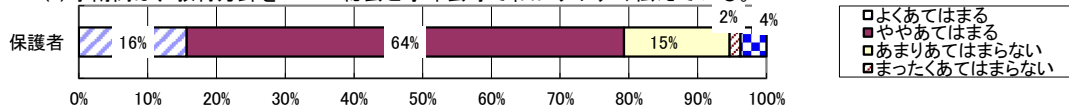
(3) 保護者だけへの質問項目

(2) 本校の教育活動に関心がある。



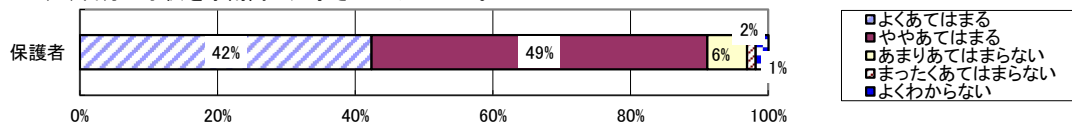
年々肯定的評価の割合が高まっている評価項目であり、本年度は87%の保護者から本校の教育活動について関心があるとの回答が得られた。保護者の高い関心と期待に応えられるよう、本校の教育活動の一層の充実、質の向上を図るとともに、内外に開かれた学校づくり努める必要がある。

(3) 宇南高は、教育方針をPTA総会と学年会等でわかりやすく伝えている。



肯定的評価について、80%と昨年度とほぼ同様の結果であった。20%程度が否定的評価もしくは「よくわからない」と回答しており、教育方針の情報発信については依然として課題が残る。PTA総会や学年会等で発信する情報を吟味し、また学校HP等の活用を通して教育方針及び教育活動に関する情報発信にさらに努める必要がある。

(17) 自分の子供を宇南高に入学させてよかった。



肯定的評価について、昨年度とほぼ同様の91%の高水準を維持している。今後も教職員一丸となって教育活動を充実させ、教育活動の様々な場面で保護者との連携強化を図り、学校と家庭双方で、生徒の健全育成に努めていきたい。